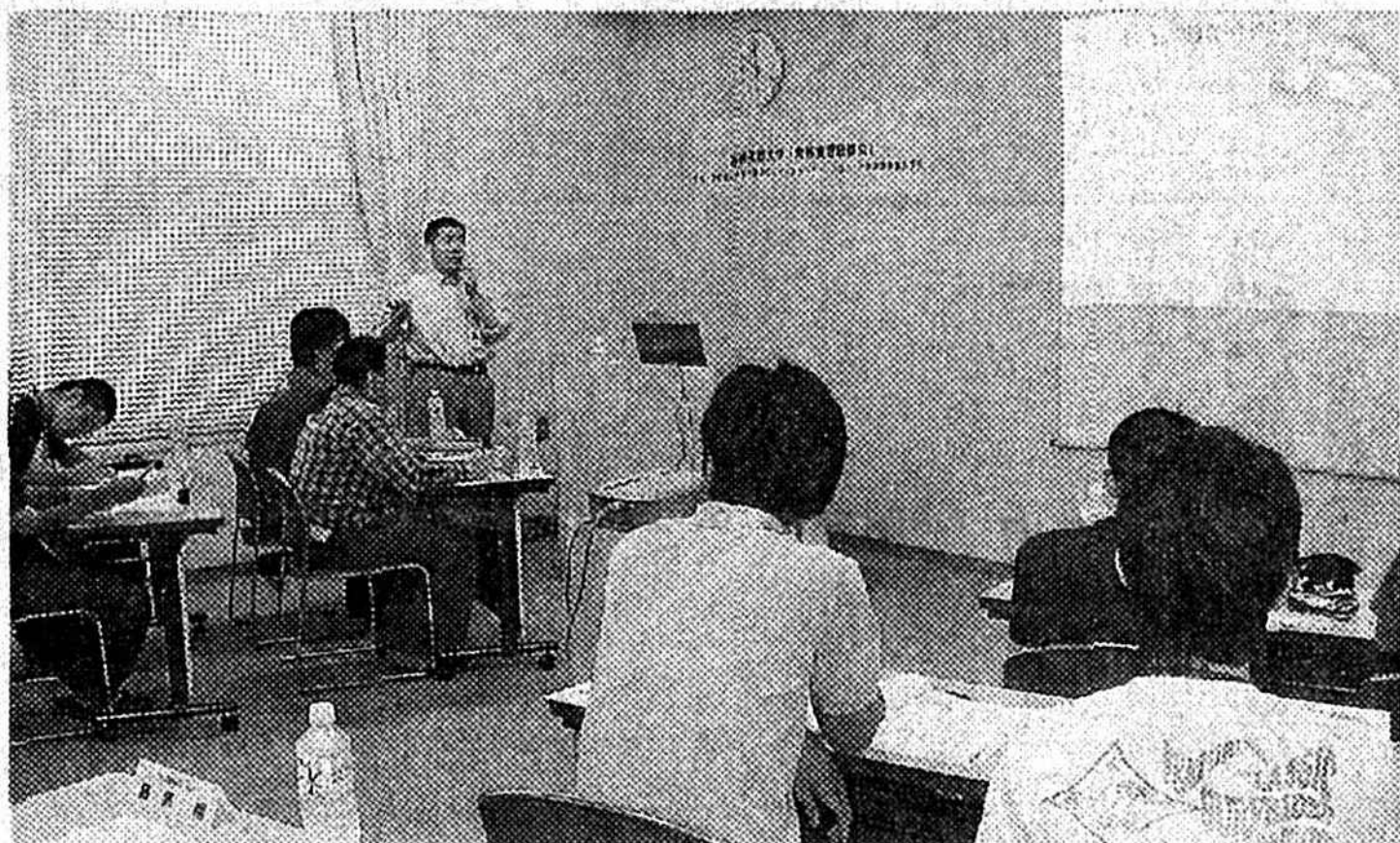


# NGO活動の在り方学ぶ

高梁・吉備国際大学生

## 国際貢献大学校で事前研修



吉備国際大（高梁市伊賀町）の学生が海外ボランティアや、NGO活動の在り方を学ぶ「海外実習研修会」（高梁学園ボ

ランティアアセンター主催）が二十四日、新見市哲多町田渕の公設国際貢献大学校で二日間の日程で始まった。

鈴木教頭から、NGO活動の在り方を学ぶ学生ら

吉備国際大が八月中旬

にタイで行う「国際協力実習」の事前研修で、福祉ボランティアなど三学科から学生十一人が参加。初日は、同大学校の鈴木剛史教頭、丸山尚人救済室長が講師を務めた。

鈴木教頭はNGO活動の課題や問題点を分かりやすく説明し、「現地で一番大切なことは人間関係。日本での人間関係が嫌で海外に出る人が増えているが、それでは通

じない」と指摘。二十日は野秀利校営管理者が危機管理を指導する。

同大精神保健福祉学科四年定守俊和さん（三）は「研修で学んだことを生かし、現地の障害者支援について調べたい」と話していた。

学生らは八月中旬から十二日間、ラヒドン大学（タイ・バンコク）の大学院のラチャスタ・カレッジで実習、現地の障害者施設など訪れる。

（赤井康浩）